



「宇陀」は、宇陀市にある「宇陀市農業センター」で栽培されている。栽培方法は、昔ながらの「山間部」で、水はけの良い土壌で育てられる。収穫は、10月下旬から12月上旬頃まで行われる。この時期は、気温が低く、根が太りやすい。また、この時期は、根が太りやすい。また、この時期は、根が太りやすい。

奈良の伝統野菜を訪ねて④

2017年10月10日 宇陀市 宇陀市農業センター

「宇陀金づいぼろ」は、奈良県宇陀市で栽培される伝統野菜です。根は太く、繊維質が豊富で、煮ると柔らかくなります。また、葉は大きく、緑色が鮮やかです。昔ながらの栽培方法で育てられ、味も香りも独特です。宇陀市農業センターでは、この野菜の栽培方法や歴史について詳しく説明しています。ぜひ、宇陀市農業センターを訪ねて、この伝統野菜の魅力を体験してください。

宇陀市農業センターで栽培された「宇陀金づいぼろ」の根と葉。根は太く、繊維質が豊富で、煮ると柔らかくなります。葉は大きく、緑色が鮮やかです。



宇陀 金づいぼろ

「宇陀金づいぼろ」は、奈良県宇陀市で栽培される伝統野菜です。根は太く、繊維質が豊富で、煮ると柔らかくなります。また、葉は大きく、緑色が鮮やかです。昔ながらの栽培方法で育てられ、味も香りも独特です。宇陀市農業センターでは、この野菜の栽培方法や歴史について詳しく説明しています。ぜひ、宇陀市農業センターを訪ねて、この伝統野菜の魅力を体験してください。

「宇陀金づいぼろ」は、奈良県宇陀市で栽培される伝統野菜です。根は太く、繊維質が豊富で、煮ると柔らかくなります。また、葉は大きく、緑色が鮮やかです。昔ながらの栽培方法で育てられ、味も香りも独特です。宇陀市農業センターでは、この野菜の栽培方法や歴史について詳しく説明しています。ぜひ、宇陀市農業センターを訪ねて、この伝統野菜の魅力を体験してください。



宇陀市農業センターで栽培された「宇陀金づいぼろ」の根と葉。根は太く、繊維質が豊富で、煮ると柔らかくなります。葉は大きく、緑色が鮮やかです。